

## 2022年度 浅井浩一元気塾

### 再始動！ そして新たなテイクオフ！

【人の本質に根ざしたマネジメントの実践を～助け合えば個人も組織も強くなる～】

**期間** 2022年4月～2023年3月(毎月1回 全11回 8月休会) 19:00～20:30

**年会費** 法人50,000円 個人20,000円

**開催形式** 通年オンラインにて開催

#### コーディネータ

**浅井 浩一** (塾長/マネジメントケアリスト)

**中村 佳正** (株式会社ブレインセンター チーフコンサルタント)

**新田 香織** (社会保険労務士法人グラス代表/  
特定社会保険労務士/キャリア・コンサルティング技能士2級)

**内野 崇** (学習院大学名誉教授)

一般社団法人 経営研究所

### 『浅井浩一元気塾』のご案内

いかに崇高なビジョンを掲げても、それが実行に移されなければ何の価値も生みません。経営ビジョンとそれを実行する現場との「かけ橋」を担うのは、いうまでもなく企業変革の要たるミドルマネジャーにはほかなりません。これからの時代に求められる真の変革リーダーとは？一方、職場に目を転ずるならば、閉塞感におおわれ、沈滞しきった職場になっていないでしょうか。現場の活力と元気に陰りはみえないでしょうか。人は着実に育っているでしょうか。沈滞しきった職場をどう活性化したらよいか、働き方改革が叫ばれるなか、人々の活力と元気を取り戻すにはどうしたらよいか。

当塾は、現場を牽引する人材のマネジメント力向上を図りたいという多くの企業の期待に応えるため2014年に創設され、塾生から極めて高い満足度を得ています。

多くのリーダーシップに関する本の中で最も注目を集めベストセラーとなり、現在ロングセラーとして数多くの企業でリーダーシップ教本として活用されている『はじめてリーダーになる君へ』の著者であり、まさに現場の実践の中にあって変革リーダーであり続けた浅井氏を中心に、上記の問題の本質に迫り、解決に向けた具体的、実践的な処方箋を提示します。

浅井氏は、JTに「どんなにがんばっても偉くなれない立場」で入社し、日本一小さな工場勤務から最年少営業所長、歴代最年少支店長に大抜擢され、「チームが一丸となるマネジメント手法」により、ばらばらだったチームを互いに助け合えるチームに変革、職場再建のプロとして閉塞感に陥っていた組織を次々と活性化させ日本一に導きました。

様々な業界の1万人以上のリーダーを指導してきた実践の変革リーダー浅井氏を塾長を中心に、株式会社ブレインセンターのチーフコンサルタントの中村氏、特定社労士にして男女共同参画社会の実現を目指す新田さん、「変革のマネジメント」に精通する内野を加え、4人のコーディネータを中心に、明日からの実践に結びつく具体的なヒントをいただける多彩なゲストを招聘。講義と塾生同士の本音のディスカッションを通じ、机上の空論ではない「実践的な学びの場」をご提供したいと考えます。(内野)

【2022年度年間スケジュール】 オンライン限定開催 原則 第4水曜日8月休会 19:00～20:30

第1回	4月27日(水)	「人に何をなしうるかは自分がいかなる人間であるかにかかっている 一人が病まず、結果を出せる組織はいかに築かれたかー」 浅井 浩一(塾長/マネジメントケアリスト)
第2回	5月25日(水)	「職場の心理的安全性のつくりかた」 石井 遼介 氏(株式会社ZENTech取締役)
第3回	6月22日(水)	「これからの時代に求められるリーダー像(仮)」 岩井 睦雄 氏(日本たばこ産業株式会社取締役会長)
第4回	7月27日(水)	「美に生き働くこと(仮)」 平田 裕二 氏 (株式会社 軸組 代表取締役/元株式会社乃村工藝社 エグゼクティブ クリエイティブ ディレクター)
	8月休会	—夏季休暇—
第5回	9月28日(水)	「ティール組織から考えるこれからの職場・組織のあり方」 嘉村 賢州 氏(NPO法人場とつながりラボhome's vi代表理事)
第6回	10月26日(水)	「コロナとDXは働き方をどう変えるか(仮)」 石原 直子 氏 (株式会社エクサウィザーズはたらくAI&DX研究所/ 元リクルートワークス研究所人事研究センター長)
第7回	11月22日(火) 曜日変更	「働き方改革について—SCSKの取り組み」 小林 良成 氏(SCSK株式会社業務役員人事・総務本部長)
第8回	12月21日(水)	「栗田工業の成長の軌跡と人事戦略の振り返り(仮)」 武藤 幸彦 氏(栗田工業株式会社常勤監査役)
第9回	2023年 1月25日(水)	「きびしい試練を生き抜く—ANAの人づくり(仮)」 佐々木 一彰 氏(全日本空輸株式会社ANA人財大学担当部長)
第10回	2月22日(水)	調整中
第11回	3月22日(水)	「年間総括」 内野 崇 (コーディネータ/学習院大学名誉教授)

各回のテーマは仮題で、変更になる場合もございます

2021年度「浅井浩一元気塾」 テーマ・提言者一覧 (提言者の所属はご提言当時のものです)

- 「人の本質に根差したリーダーシップの実践を—コロナ禍をチャンスと捉えて見直そう—」  
浅井浩一(塾長/日本マネジメントケアリスト協会理事長)
- 「超 働き方改革とこれからの組織マネジメント」 太田肇氏(同志社大学政策学部 教授)
- 「パワハラのない健全な組織のために必要なこと～働き方改革をめぐる～様々な雇用・労務ルール改正」  
新田香織(コーディネータ/社会保険労務士法人グレース 代表)
- 「ウィズコロナにおける生産性と従業員満足の両立をめざして—」  
石原直子氏(リクルートワークス研究所人事研究センター長)
- 「これからの組織マネジメントと人とのかかわりを考える」 鈴木竜太氏(神戸大学大学院経営学研究科教授)
- 「人生100年時代を生きる～これからの職場のあり方とキャリア形成」  
金沢春康氏(一般社団法人100年ライフデザイン・ラボ代表理事)
- 「DX時代の組織とヒトの関わり方を考える」 若林隆久氏(高崎経済大学 地域政策学部准教授)
- 「これからの雇用と働き方を考える—ダイバシティと格差」 禿あや美氏(跡見学園女子大学マネジメント学部教授)
- 「変革と持続的成長をするために～私がリーダーになってから」 森本真里氏(富士ソフト株式会社 取締役執行役員)
- 「年間総括」 内野崇 (コーディネータ/学習院大学名誉教授)

## 【コーディネータ紹介】

### 浅井 浩一

マネジメントケアリスト。JT(日本たばこ産業株式会社)の歴代最年少支店長を経て、2001年より自らも現場でマネジメントを行いながら、多くの企業幹部、管理職、リーダーを指導。「離職率を抑え、メンタルを病む人をゼロにし、なおかつ目標を達成し続ける」ために、リーダーとともに考え、行動し、悩みの解決を図る。業種・業態を問わず、職場再建率は100%。これまで指導してきたリーダーの数は1万人を超え、お互いを信頼し助け合える組織作りを信条とし、「意識と行動を変える超実践派」の第一人者として高い評価を得ている。著書『1万人のリーダーが悩んでいること』『はじめてリーダーになる君へ』(ダイヤモンド社)はアマゾンベストセラーを獲得し、ロングセラーとして多くの企業でリーダーシップ教本として活用されている。

### 中村 佳正

株式会社ブレインセンター取締役を経て2022年4月よりチーフコンサルタント。一般社団法人ソーシャルシフト・ラボ理事。30年にわたり、IR/CSRジャンルを始めとする企業コミュニケーション支援事業に従事。主に上場企業クライアントに対して、ESG投資観点からの財務非財務情報発信支援およびサステナビリティブランディング支援などをテーマとするコンサルティングを担当。

### 新田 香織

社会保険労務士法人グラス代表。特定社会保険労務士/キャリア・コンサルティング技能士2級。人事系アウトソーシング会社、社会保険労務士事務所にて手続き業務、規程作成、労務管理等に従事したのち、厚生労働省東京労働局雇用均等室にて育児両立支援職場復帰環境整備コンサルタントとして次世代育成支援対策推進法に携わる。その後、グラス社労務士事務所を設立し、現職。社会保険労務士業務のほか、ワーク・ライフ・バランスを中心とした講演、執筆、コンサルティングを行う。

### 内野 崇

東京大学大学院経済学研究科博士課程を経て、現在、学習院大学名誉教授。国内企業を中心に数多くのコンサルティング、研修・教育に従事。日本生産性本部経営アカデミー・トップマネジメントコース他のコーディネータ。学校法人学習院企画部長として学校改革に携わる。株式会社関電工取締役。著書に『新版 変革のマネジメント』(生産性出版)、『企業文化・業績と強い関係』(共著論文、日本経済新聞)、『組織の経時的分析』(経済論集)、『戦略論と組織論の融合をめざして』(経済研究)『戦略型経営』(共訳、ダイヤモンド社)ほか多数。

## 【経営研究所とは】

経営研究所は昭和21年に故高宮晋先生(東大、一橋大、上智大名誉教授)によって学者と企業が共同で近代経営のあり方を研究すべく設立された会員制の非営利団体です。当時は他に類似の機関がなかったために、「経営研究所」がそのまま固有名詞となり、今日に至っております。1996年より故土屋守章(東京大学名誉教授)が、さらに2010年6月より寺本義也(前早稲田大学大学院教授)が引き継ぎ、2013年9月まで丸の内地区を拠点に経営学及び関連学問の研究関心等、大学と企業の実務的課題を結びつける役割をはたしてまいりました。創立以来70有余年、着実に発展の地歩を固め今日に至るわけではありますが、2013年10月をもって改めて21世紀にふさわしい研究所としての基盤整備に着手し、「一般社団法人経営研究所」として再スタート致しました。『知と実践の交流の場として、また智の発信基地』としての役割を担うなかで得た成果を、広く企業の実務において活かしていただくとともに、産業界及び学会の発展に資することを狙いとしています。

## 【研究所の活動と特色】

～わが国を代表する産・官・学の各界の“知と人”を結集した『研究会』が活動のメイン！～

経営研究所は、経営の根幹にかかわるテーマごとに研究会を設け、各研究会の活動を経営研究所のコアにしています。各研究会にあっては、講義形式、セミナー形式をとらず、実務者、研究者等を中心に参加メンバーの知的格闘技を重視し、毎回、わが国を代表する多彩なゲストを招聘し、ゲストのプレゼンテーションに続き、参加者(ビジネスパーソンと研究者が中心)との間で、議論を重ねます。単なる勉強の場にとどまることなく、その論議を通じて問題を深く掘り下げ、また参加者が相互に切磋琢磨するとともに、実務上、研究上の新しい着想と、知らぬに実践への指針を得ることをめざします。各研究会は、上記の研究会活動を通じて、それぞれに質の高い提言と討論がなされるのみならず、しっかりしたドキュメントを提供します。

## 【参加申込方法】

年会費 1社 50,000円 個人 20,000円  
\*年度途中でのご参加も可能です。尚、年会費はお申込み頂いた月より1年間、次年度より自動更新です。

申込方法 必要事項を下記メールアドレスにお送りいただくか、HPよりお申込み下さい。  
法人でのご入会は会社単位、1社10名の会員まで、個人の場合はご本人のみご登録可能です。

連絡先 一般社団法人 経営研究所 事務局  
〒100-0005 東京都千代田区丸の内 2-5-2 三菱ビル B1F  
TEL 03-5220-2881 FAX 03-3217-0208  
E-mail [keieikenkyusho@keieik.or.jp](mailto:keieikenkyusho@keieik.or.jp)  
URL <http://www.keieik.or.jp>



## 2022年度「浅井浩一元気塾」申込書

20 年 月 日

【個人申し込み】お支払い情報はメールにてお知らせいたします。

氏名	TEL
	E-mail
住所（機関誌をお送りします）	
〒	

【法人申し込み】お支払い情報はメールにてお知らせいたします。

会社名	
住所（機関誌をお送りします）	
〒	
TEL	
所属部署およびお役職名	
ご担当者氏名	E-mail

請求書発行方法 郵送 PDFメール添付 郵送とPDFメール添付

請求書発行をご希望の法人で、送付先が上記住所と違う場合はご記入ください。

請求書送付先
--------